

ご近所のお医者さん

736

大平耳鼻咽喉科院長 **大平真司さん** 一東大阪市

ACP(人生会議)を知っていますか？

大阪府医師会では毎年、健康に関する身近な話題を取り上げ「大阪の医療と福祉を考える公開討論会」を開催しています。第46回となる今回は、昨年11月23日、大阪府医師会館で「ACP(人生会議)を知っていますか？」

より良い最期を迎えるために、患者と家族、医療者みんなで考える」をテーマに実施し、約300人の府民に参加いただきました。

当日は、淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長の池永昌之先生、在宅療養支援診療所であるかわべクリニックス院長の川邊正和先生、僧侶であり公認心理師の資格を持つ佐々木慈瞳さんをパネリストに迎え、それぞれの立場からACPの重要性をお話しいただき

公開討論会 府民に啓発

た川邊先生は、「入院医療」と「在宅医療」の違いを説明し、どちらが正しいではなく、「どう生きたいか」を重視してほしいと訴えられました。佐々木さんは、「よくいき」という概念を提唱し、自分らしい生き方を周囲に伝えてほしいとのメッセージを発信しました。

ました。

ACPとは、将来の医療やケアについて、元気なうちから本人や家族、医療・介護チームが繰り返し話し合い、自身の希望を共有する取り組みです。池永先生は、「心筋梗塞や交通事故などによって、急に意識がない状態になってしまう。そのような状況で、治療を自身で決められない時のことを考えたことはありますか」と問いかけ、話し合いの大切さを述べられました。ま

増加しており、近くに家族や身近な人がいない方も多いかと思えます。そのような場合は、かかりつけ医や訪問看護師・介護士、ケアマネジャーなどの医療従事者にご相談いただければと思います。

当日の様子は、YouTubeでアーカイブ配信をしていますのでQRコード参照



||ぜひご視聴ください。
(府医師会理事)

私はコメンテーターとして討論を総括しました。大阪に限らず、高齢者は